

令和3年度 6年(国語科) 年間計画および評価の概要

横浜市立緑小学校

月	《単元名・教材名》	時数	《単元目標》	観点別評価規準		
				知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4	つないで、つないで、一つのお話	1	自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめることができる。	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。	「話すこと・聞くこと」において、自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめている。	進んでつながりを捉えながら話を聞き、見通しをもって話を作ろうとしている。
4	春の小川/小景異情 続けてみよう	1	これまでに身につけてきた音読の技能をいかして、詩を音読することができる。	これまでに身につけてきた音読の技能をいかして、詩を音読している。	「読むこと」において、詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。	音読の技能をいかすことに進んで取り組み、互いの表現の意図に応じて詩の音読について感想を交流しようとしている。
4	帰り道	4	・登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。 ・人物像や物語の全体像を具体的に想像することができる。	自分の思いや考えが聞き手に伝わるように文章を音読している。	・「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。 ・「読むこと」において、人物像や物語の全体像を具体的に想像している。	進んで視点の違いに着目して心情などを捉えて読み、学習の見通しをもって感想を書いて伝え合おうとしている。
4	地域の施設を活用しよう	1	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくことができる。	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与している。		読書生活に関わる地域の施設に関心をもつとともに、目的に応じて進んでそれらを活用しようとしている。
4	漢字の形と音・意味	2	漢字の由来、特質などについて理解することができる。	・第6学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。 ・漢字の由来、特質などについて理解している。		進んで漢字の由来、特質についての理解を深め、今までの学習をいかして漢字を文や文章の中で使おうとしている。
4	春のいぶき	2	語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。	語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。	積極的に季節を表す語彙を豊かにし、表現の意図に応じて言葉を吟味しながら、俳句や短歌を作ろうとしている。
5	聞いて考えを深めよう	6	話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。	文と文との接続の関係、話の構成や展開について理解している。	「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。	互いの考えを比較しながら進んで話を聞き、学習の見通しをもって自分の考えをまとめようとしている。
5	漢字の広場①	1	第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。	第5学年までに配当されている漢字を積極的に使い、学習課題に沿って出来事を説明する文章を書こうとしている。
5	笑うから楽しい 時計の時間と心の時間 [情報]主張と事例	7	・原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。 ・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。	原因と結果など情報と情報との関係について理解している。	・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。	進んで主張と事例の関係を捉えて読み、学習課題に沿って自分の考えをまとめて発表しようとしている。
5	話し言葉と書き言葉	1	話し言葉と書き言葉の違いに気づくことができる。	話し言葉と書き言葉の違いに気づいている。		進んで話し言葉と書き言葉の違いについての理解を深め、場面や相手に応じて適切な表現をしようとしている。
6	たのしみは	3	構成や書き表し方などに着目して、短歌を整えることができる。	・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 ・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方について知識を得ている。	・「書くこと」において、構成や書き表し方などに着目して、短歌を整えている。 ・「書くこと」において、短歌に対する感想や意見を伝え合い、自分の作品のよいところを見つけている。	書き表し方に着目して表現を整えることに粘り強く取り組み、今までの学習をいかして短歌を作ろうとしている。
6	文の組み立て	2	文の中での語句の係り方や語順について理解することができる。	文の中での語句の係り方や語順について理解している。		進んで語句の係り方や語順についての理解を深め、表現の意図に応じて分かりやすく文を組み立てていこうとしている。
6	天地の文	1	近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。	・近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 ・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方について知識を得ている。		進んで文語調の文章の言葉の響きやリズムに親しみ、今までの学習をいかして音読しようとしている。
6	[情報]情報と情報をつなげて伝えると	2	情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。	情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。	進んで情報と情報との関係づけのしかたについて理解を深め、学習課題に沿って分かりやすく書いて伝えようとしている。

6	私たちにできること	10	筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考慮することができる。	文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。</li> <li>・「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。</li> <li>・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</li> </ul>	筋道の通った文章となるように、粘り強く文章全体の構成を考え、学習の見直しをもって提案する文章を書こうとしている。
7	夏のさかり	2	語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。	語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。	積極的に季節を表す語彙を豊かにし、意図に応じて言葉を楽しみながら手紙を書こうとしている。
7	私と本 森へ	5	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくことができる。	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめている。</li> <li>・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。</li> </ul>	進んで読書の役割についての理解を深め、これまでの読書生活を振り返って、テーマに着目した本の交流をしようとしている。
8・9	せんねん まんねん	1	詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。	比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。	「読むこと」において、詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。	楽しみながら詩の表現の工夫とその効果を考え、今までの学習をいかして互いの考えを伝え合おうとしている。
8・9	いちばん大事なものは	2	互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。	思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。	「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。	積極的に自分の考えを広げたりまとめたりしながら、学習の見直しをもって互いの考えを尋ね合おうとしている。
8・9	利用案内を読もう	3	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができる。	文章の種類とその特徴について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけている。</li> <li>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめている。</li> </ul>	身の回りのさまざまな媒体から必要な情報を見つけることに興味をもち、学習課題に沿って効果的な読み方について交流しようとしている。
8・9	熟語の成り立ち	2	語句の構成や変化について理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6学年までに担当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。</li> <li>・語句の構成や変化について理解している。</li> </ul>		進んで熟語の構成についての理解を深め、学習課題に沿って熟語を調べたり書いたりしようとしている。
8・9	漢字の広場②	1	第5学年までに担当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	第5学年までに担当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。	第5学年までに担当されている漢字を積極的に使い、学習課題に沿って出来事を説明する文章を書こうとしている。
8・9	やまなし [資料]イーハトーヴの夢	8	文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめることができる。	比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。</li> <li>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめている。</li> </ul>	表現や構成等に着目して作品世界を捉えることに粘り強く取り組み、学習の見直しをもって自分の考えを書こうとしている。
10	言葉の変化	2	語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づくことができる。	語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づいている。		時代や世代による言葉の違いについて進んで理解を深め、学習課題に沿って変化した言葉について調べようとしている。
10	秋深し	2	語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。	語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。	積極的に季節を表す語彙を豊かにし、表現の意図に応じて言葉を楽しみながら俳句や短歌を作ろうとしている。
10	みんなで楽しく過ごすために [コラム]伝えにくいことを伝える	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。</li> <li>・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。</li> <li>・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。</li> </ul>	言葉を通じて積極的に人と関わり、目的や条件に応じて、よりよい解決に向けて見直しをもって話し合おうとしている。
10	漢字の広場③	1	第5学年までに担当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	第5学年までに担当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。	第5学年までに担当されている漢字を積極的に使い、学習課題に沿って物語を書こうとしている。

11	「鳥獣戯画」を読む [情報]調べた情報の用い方 日本の文化を発信しよう	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。</li> <li>引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。</li> <li>目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。</li> </ul>	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。</li> <li>「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</li> <li>「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。</li> </ul>	文章と図表などを結び付けて必要な情報を読み取ったり、構成を工夫して書き表したりすることに粘り強く取り組み、学習の見通しをもってパンフレットを作ろうとしている。
11	古典芸能の世界一演じて伝える	1	古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。	古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方について知識を得ている。		古典芸能について関心をもち、理解を深めるとともに、学習課題に沿って交流しようとしている。
11	カンジ博士の漢字学習の秘伝	2	第6学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>文や文章の中で漢字と仮名を適切に使分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。</li> <li>第6学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。</li> </ul>		工夫して漢字学習を行うことに進んで取り組み、今までの学習をいかして漢字を正しく書こうとしている。
11	漢字の広場④	1	第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。	第5学年までに配当されている漢字を積極的に使い、学習課題に沿って出来事を説明する文章を書こうとしている。
12	狂言 柿山伏「柿山伏について」	4	親しみやすい古典芸能の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>親しみやすい古典芸能の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。</li> <li>古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方についての知識を得ている。</li> </ul>	「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。	狂言や昔の人のものの見方・考え方への理解を進んで深め、今までの学習をいかして「柿山伏」を音読しようとしている。
12	大切にしたい言葉	6	目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。	語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。</li> <li>「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</li> <li>「書くこと」において、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。</li> </ul>	自分の考えが伝わるように書き表し方を粘り強く吟味し、見通しをもって大切にしたい言葉についての文章を書こうとしている。
12	漢字の広場⑤	1	第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。	第5学年までに配当されている漢字を積極的に使い、学習課題に沿って出来事を説明する文章を書こうとしている。
12	冬のおとずれ	2	語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。	語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。	積極的に季節を表す語彙を豊かにし、意図に応じて言葉の吟味しながら手紙を書こうとしている。
1	詩を朗読して紹介しよう	2	自分が感じたことが伝わるように、詩を朗読することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が感じたことが伝わるように、詩を朗読している。</li> <li>日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。</li> </ul>	「読むこと」において、詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。	自分が感じたことが伝わるように進んで朗読のしかたを考え、今までの学習をいかして気に入った詩を紹介しようとしている。
1	仮名の由来	1	仮名の由来、特質などについて理解することができる。	仮名の由来、特質などについて理解している。		進んで仮名の由来や特質に対する理解を深め、今までの学習をいかして適切に文字を読んだり書いたりしようとしている。
1	メディアと人間社会 大切な人と深くつながるために [資料]プログラミングで未来を創る	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめることができる。</li> <li>文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。</li> </ul>	文と文との接続の関係、文章の構成や展開について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」において、事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。</li> <li>「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめている。</li> <li>「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。</li> </ul>	複数の文章を読んで自分の考えをまとめることに粘り強く取り組み、学習課題に沿って互いの意見を交流しようとしている。

1	漢字を正しく使えるように [コラム]覚えておきたい言葉	2	第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第6学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うことができる。	第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第6学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。		第6学年に配当されている漢字の学習に粘り強く取り組み、今までの学習をいかして同じ読み方をする漢字を正しく使おうとしている。
2	人を引きつける表現	3	比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。	・語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。	比喩や反復などの表現の工夫に関心を持ち、学習課題に沿って説明する文章を書こうとしている。
2	思い出を言葉に	7	・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。 ・作品全体の構成や展開が明確になっているかなど、作品に対する感想や意見を伝え合い、自分の作品のよいところを見つけることができる。	比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、作品全体の構成や書き表し方などに着目して、作品を整えている。 ・「書くこと」において、作品全体の構成や展開が明確になっているかなど、作品に対する感想や意見を伝え合い、自分の作品のよいところを見つけている。	伝えたいことを明確にすることに粘り強く取り組み、学習の見通しをもって経験と自分にとっての意味について形式を選んで書こうとしている。
2	今、私は、ぼくは	6	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。	文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話の構成や展開について理解している。	・「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。	資料を活用して自分の考えを表現することに意欲的に取り組み、聞き手の知識や反応等に応じてより効果的なスピーチにしようとしている。
3	漢字の広場⑥	1	第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。	第5学年までに配当されている漢字を積極的に使い、学習課題に沿って文章を書こうとしている。
3	海の命	6	文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。	語句と語句との関係、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	・「読むこと」において、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	登場人物の関係等に着目して自分の考えを広げることに進んで取り組み、学習課題に沿って互いの意見を交流しようとしている。
3	中学校へつなげよう 生きる 今、あなたに考えてほしいこと	4	文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。	・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。 ・自分が思ったことや考えたことが伝わるように詩を朗読している。	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	読んで考えたことを積極的に共有し、今までに学んだ言葉の力を振り返って、生活の中で言葉をよりよく使っていこうとしている。